

新型コロナウイルス感染症のクラスター情報提供のお願い

1. 背景と意義

現在、日本の新型コロナウイルス感染は爆発的な拡大には進んでいないものの、感染者数は増加傾向にあり、当面その傾向が続くと考えられる。今後の感染拡大を防ぐ具体策の3本柱としては専門家会議は「クラスター(集団)の早期発見・早期対応」、「患者の早期診断・重症者への集中治療の充実と医療提供体制の確保」、「市民の行動変容」としている(3月9日新型コロナウイルス感染症対策専門家会議)。

新型コロナウイルス感染症においては若年層では症状が出にくいいため、感染に気づかずにいる者は多いと考えられる。有症状で診断され、入院に至っている感染者の多くは高齢者であり、その陰にまだ明らかになっていない若年層クラスターの発生が先行している可能性が高い。

クラスターの早期発見・早期対応には、感染者のリンクの割り出しが必須であり、行動歴の情報が重要な手がかりとなる。現在入院患者を受け入れている医療機関の医師が把握している情報のなかには、クラスターの早期発見につながる情報が含まれている可能性がある。これらの情報は保健所、自治体からの情報を補完する重要な情報源となることが期待される。また、自治体の枠を超えた異なる病院の医師同士が情報交換をすることで新たなクラスターの発見につながることも十分に考えられる。

上記を受け、日本感染症学会では、関連の医療機関に順次協力を要請し、クラスターの同定に役立つ情報収集を実施することとした。

2. 方法

(1) 感染者およびその行動歴の把握

新型コロナウイルス感染症の診断がついた症例のうち、特に感染経路が不明の者がみられた場合には、クラスターの同定につながる可能性のある情報を収集して以下に報告する。

(2) クラスター発生が疑われる場合の対応

クラスター発生が疑われるようなリンクの可能性のある情報が得られた場合には、自治体・保健所・医師会・医療機関などと共有し、実際のクラスターの発見につなげる。これら情報に関しても以下に連絡する。

(3) 確定診断が得られていない疑い症例の察知

新型コロナウイルス感染症が疑われているものの確定診断に至っていない症例(両側のウイルス性肺炎疑いで、感染の可能性が高い症例)がみられた場合にも以下に連絡して対応を検討する。

3. 連絡先

日本感染症学会 新型コロナウイルス疫学解析チーム事務局

電話番号: 070-1003-2146 (担当代表: 今村剛朗)

E-mail アドレス: timamura@med.tohoku.ac.jp

* 疫学情報特に疫学リンクを同定してクラスターを検出するための情報収集ですので、感染制御や治療についてのお問い合わせには応じかねます。